



VISION 2035

概要版



自工会ビジョン2035とは

現在、自動車産業は100年に一度といわれる大変革に直面しており、
カーボンニュートラルやCASEなど多岐にわたる様々な課題に取り組む必要が出ています。

既に、自工会は7つの課題をはじめとして、未来に向けて様々な取り組みを行っており、

その中では、従来の自動車産業関係者だけでなく、多くの他産業・政府関係者の皆様にもご協力いただいております。

一方で、「7つの課題」を定めた当初に比べ、環境変化は加速度を増しています。

このビジョンでは、社会全体からの大局を見たご理解と応援をより一層頂くために、

現在の自動車産業を取り巻く課題を再整理した上で、

自動車産業がモビリティ産業として目指す「未来の姿」と「道筋」を描きました。

この「未来の姿」は、マルチパスウェイによるカーボンニュートラル推進と
デジタル技術による新たな価値創造を取り組み、

7つの課題を含む様々な課題を克服した先にある2035年の世界です。

自工会は2035年の世界では、「**自動車がモビリティへと進化し、**

地球規模から国・地域特有の様々な課題の解決が進み、

新たな価値が生まれてることにより、日本の産業競争力が維持・発展し、

また、モビリティが人々の生活に豊かさとワクワク感をあたえる存在になっている」と考えています。

この世界を実現するためには、自動車産業の仲間はもちろん、

政府、他産業、スタートアップ、次世代を担う若い世代とのさらなる連携が必要になります。

自動車産業としても、よりよい社会に向けて、責任をもって取り組んでいきます。

このビジョンで描いた社会・生活者を中心に据えたモビリティ産業の展望に共感いただける

多くの仲間と共に、実現に向けて共に歩んでいきたいと思っています。

自工会ビジョン2035とは

P2

第1章 550万人と築いてきた産業

P4

社会と共に築き上げてきた
自動車産業としての**実績・貢献**



第2章 環境変化と自動車産業の取り組み

P5

- 自動車産業を取り巻く環境
- 10年後を見据えた課題と危機意識

100年に一度の大変革期
産業を挙げて様々な取り組みを進めているが
今までの貢献を将来持続できないという**危機感**



第3章 2035年Vision ～未来の姿～

P7

危機を乗り越えた先にある
未来の姿・ビジョン
産業競争力を支えつつ、
ワクワク感を与える存在



第4章 未来への道筋

P8

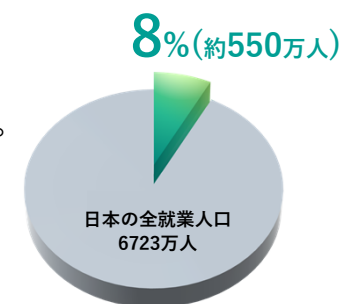
未来の姿・ビジョンを実現するために
**他産業・政府の皆様と共に
取り組んでいきたいこと**



550万人と築いてきた産業

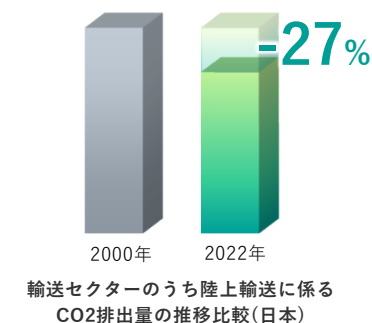
日本経済と自動車産業

- 自動車メーカーは様々な産業と協力し、自動車産業を作り上げてきた。
- 自動車関連産業は経済波及効果においてトップ3を占め、雇用面でも全国550万人の仲間を持つ。
- 自動車工場が立地する都道府県は26/47、地域経済にとっても重要な存在。
- 輸送用機械の国内総生産は13.9兆円。輸送用機器は貿易黒字を維持し、貿易収支に貢献。



豊かな生活や暮らしの実現

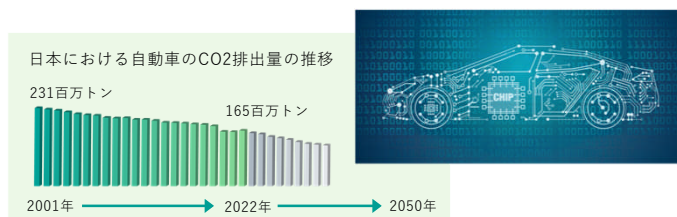
- 乗用車、軽自動車、二輪車、商用車、救急車両や各種作業用車両等の多種多様な車両の提供、またMaaSや自動運転等を通じ、新たな価値を創出し、生活を充実。
- 低燃費技術や電動車を世界に先駆けて開発し、大幅なCO2削減を実現し、積極的な取り組みを継続。



環境変化と自動車産業の取り組み

自動車産業を取り巻く環境

- 100年に一度の大変革期を迎えている自動車産業は、**カーボンニュートラル**、**CASE**といった新たな課題への取り組みを推進。



こうした新たな課題に対して迅速に対応するために、**2020年より自工会変革**を実行

- 最近の事例として、マルチパスウェイの発信、および具体的な取り組みを自工会および個社を通じて展開。



- 自工会は「**自動車からモビリティへの変化**」が必要であると認識。今後は「**社会・生活者**」を中心に据えて、**より多くの業界・行政と連携**し、モビリティがけん引役となり、全体最適で**価値創造・課題解決に取り組んでいく**考え。



- 自動車産業単独では対応できないテーマが増え、モビリティの側面を踏まえた活動が重要。**自動車産業が基幹産業として引き続き日本経済・社会に貢献**するために、緊急度や波及効果を踏まえて、直近で特に**優先的に取り組むべき「7つの課題」**を設定。産業界・官民一体となり優先的に活動することを確認。

7つの課題

- ① 物流・商用・移動の高付加価値化/効率化
- ② 電動車普及のための社会基盤整備
- ③ 国産電池・半導体の国際競争力確保
- ④ 重要資源の安定調達 強靱な供給網の構築
- ⑤ 国内投資が不利にならない通商政策
- ⑥ 競争力のあるクリーンエネルギー
- ⑦ 業界を跨いだデータ連携

環境変化と自動車産業の取り組み

10年後を見据えた課題と危機意識

インフラ分野の課題

- 充電ステーションが少ないため、電動車普及に課題
- カーボンニュートラル、資源循環経済に向けて、地域社会・行政との連携が必要
- カーボンニュートラル対応はイニシャルコスト、ランニングコストともに中小物流事業者の経営を圧迫



デジタル分野の課題

- 中国の新興企業等の驚異的な開発スピードにどう対応するか
- モビリティ用のソフトウェアプラットフォームをどう構築するか
- デジタル化に伴い、ソフトウェア人財を含む人的資源確保の難しさが増大



サプライチェーンの課題

- 半導体をはじめとするSDVに不可欠な部材の調達力と資源循環の確保
- 天然資源に乏しい日本において、電池の材料となるレアメタル等の安定調達にかかる懸念
- 国土の狭い日本にとって、再エネ電源整備は地理的に限界があり米国・中国・欧州に比べ不利



グローバルな課題

- 各国規制レベルの急激な強化（排ガス、燃費等）に伴う対応コストの上昇
- 米国、中国、欧州等による保護主義的政策の台頭・国内製EVの優遇
- 国内の高いBEV需要や政府支援を背景に、競争力を高める中国勢の攻勢
- 新興国における中大型モーターサイクル市場拡大の一方、中国・インドを中心とした廉価なブランドの台頭



自工会は「7つの課題」をはじめとした取り組みを進め、
厳しい課題・状況に対応していった先の未来の姿として

「2035年 Vision～未来の姿～」を描いた

2035年Vision ～未来の姿～

政府・他産業・スタートアップ、
そして次代を担う若い世代との**共創**により
2035年の未来を実現していく。



マルチパスウェイによる
カーボンニュートラル推進

モビリティを支えるインフラの整備

多種のクリーンエネルギーや、
電動車の社会インフラが整備され、
多様なモビリティが普及

**サプライチェーン強靱化・
循環型社会の実現**

重要資源・素形材・部品等の安定調達
および電池用資源等の循環型システムにより、
モノづくり基盤が確立

自動車がモビリティへと進化し、
人々の生活に豊かさと、
共創・体験のワクワク感を与える存在へ

地球環境・地域社会の**持続性**と
日本の**産業競争力の維持・発展**に
寄与している

デジタル技術による
新たな価値創造

社会課題の解決

多様なモビリティが持続可能な地域づくりに
不可欠な交通・物流インフラを維持

ユーザー体験の進化

SDVの普及が、ユーザー体験の価値向上及び、
経済の活性化に寄与

未来への道筋（全体像）

自動車産業として550万人の仲間たちと共にこれまでの取り組みを一層充実させていく。

自動車産業にとどまらない新たな課題も増える中、政府や他産業、スタートアップと協業・連携し、未来の姿を実現していきたい。

マルチパスウェイによる
カーボンニュートラル推進

モビリティを支える
インフラの整備

サプライチェーン強靱化
循環型社会の実現

デジタル技術による
新たな価値創造

社会課題の解決

ユーザー体験の進化

政府



- 各種方針・計画・中長期ロードマップ等の政策立案・主導
- 法整備・制度設計等の適時・必要なルールメイキング
- インセンティブ、投資・研究・開発支援等の各種サポート
- 自由・公正な環境に資する通商政策、国際標準化等グローバル化への対応

モビリティ産業

他産業



- クリーンエネルギーの供給基盤・モビリティシステムの構築
- エネルギーマネジメントにおけるモビリティの活用（V2X等）
- 資源調達・加工過程の複線化・国産化
- デジタルインフラ整備・業界間データ連携促進（部品トレサビ）
- 業界を超えた循環型システム作り

自動車産業



- 多様なモビリティ・パワートレイン開発・提供
- 充電・充填インフラの充実
- 重要部品等について自動車メーカー間の協調領域の拡大（電池・半導体の仕様共通化等）

- 自動運転に必要な要素技術開発
- デジタルインフラ整備・業界間データ連携促進（自動運転・物流効率化）
- デジタル技術を通じたビジネス革新のため多様な産業と協創・協業加速

- 自動運転サービス・車両の提供
- インフラ協調型システム開発
- 多様な車両のSDV化
- 主要技術・システムの標準化・共通化（ビークルAPI・ビークルOS等）

自動車産業 自動車メーカー、部品サプライヤー等

他産業 エネルギー産業、半導体産業、ソフトウェア産業等